第185号

9月定例会号

発行:令和4年10月25日

湘南にのみや 議会だより







議会のHPはこちら

第3回定例会(9/2~9/28)第3回臨時会(7/25)

◆ 令和3年度決算(可否同数により議長採決) 2~	3
◆ 決算総括質疑 (4人)4~	5
◆ 補正予算	6
◆ 条例・陳情(可否同数により議長採決)・人事	7
◆ 賛否一覧表・議員研修会	8
◆ 一般質問 (6人) 9~1	1
★ 常任委員会報告・編集後記 ····································	2

令和3年度



设会計予算

議長採決により一般会計決算認定 特別会計は

令和3年度の事業ポイント

第6次総合計画策定委託料

· 住民税非課税世帯臨時特別給付事業

・戸籍住民基本台帳経費(コンビニ交付委託等)

・子育て世帯への臨時特別給付金給付事業

・新型コロナウイルスワクチン接種事業

・遊休・荒廃地対策事業

point!

· 1級町道10号線復旧工事(吾妻山土砂流出)

・長畑公園防球ネット設置工事

・救急救助活動における心電図伝送システム

・駅・ラディアン周辺まちづくり計画策定委託料

・教育用コンピューター借上料(ICT教育推進事業) 5,689万円

・3小学校施設整備事業(雨漏り、修繕等)

・町民温水プール施設管理運営事業

・ラディアン一部改修設計

※千円単位切り捨て

583万円

2億5,596万円

1,119万円

3億2.074万円

2億7,918万円

67万円 1.499万円

774万円

848万円

798万円

3,820万円

8,194万円

539万円



長畑公園防球ネット

D#-		区分	令和3年度	令和2年度	前年比	採決結果				
昨	一般	会計	96億4,744万円	114億8,122万円	84%	賛成7 反対6				
年度との比較	(57	ちコロナ対策関連)	10億7,758万円	32億6,485万円	33%	_				
	特	国民健康保険	28億4,467万円	28億443万円	101%	全員賛成				
	別	後期高齢者医療	9億1,817万円	9億6,620万円	95%	賛成11反対1				
	会	介護保険	27億1,773万円	26億1,673万円	104%	賛成11反対1				
	計	下水道事業	8億9,392万円	8億8,842万円	101%	賛成11反対1				
TA	歳出	決算合計	170億2,193万円	187億5,700万円	91%	_				

① 新庁舎・駅周辺公共施設再編計画は、町民と議会の理解を得るため、年度計画と財政計画を明 確に示されたい。

審 査

意

見

② 町民の福祉、利便性の向上のため、デジタル推進室主導のもと、各課と連携を図り、自治体DX (デジタルトランスフォーメーション)を推進されたい。

③要支援者に対する個別避難計画やマイタイムラインは、町民の理解を広げ、実効性を高めること。

④ 地域公共交通は、福祉的視点も考慮し、利用促進を図られたい。

⑤ 全ての児童の「教育を受ける権利」を守るため、状況や場所を問わず、タブレットを有効に活 用すること。

⑥ 保育士不足に対し、処遇面での地域格差を解消するため、町独自の支援策を講じ確保に努めら れたい。

96億4,744万円

可否同数

10億円を超えるコロナ関連補助 決算総額170億円超

国民健康保険 全員賛成 他賛成多数で認定

コロナ禍で打撃を受けた支援として、商品券発行や第2次中小企業等事業継続に国の交付金を最大限に有効活用した点や、デジタル推進室の立ち上げ、認知症サポーターを中学生まで拡大、公費負担未実施の自治体がある中、新生児聴覚検査補助や小学校整備事業など、当該年度の事務事業執行を妥当と判断。 (二宮)

予算時と大きく異なる使途がなく、財政見通しの表記を評価。子どもたち、子育て世帯、高齢者の支援はさらに必要。これらの支援と新庁舎整備を含めた多くの建設事業は両輪で回せるのか。町民の安全、安心な暮らしが第一優先。公共施設再配置は、費用対効果を見極めながら統合等の決断を根拠を持って、行政が進めることが必要。 (羽根)

賛成

令和3年度もコロナウイルス対策年度。ワクチン接種事業は予約の仕方に工夫が足らず非難を浴びたが、速やかに改善し順調に進めた。閉鎖空間でなく屋外の活動が望まれ、東大果樹園跡地活用事業はより使いやすくなったと評価。第6次総合計画委託事業も策定の途中経過を開示して行く姿勢が見えた。町が大きく転換していくため総合計画に期待。 (小笠原)

若年層の重層的なリスク支援をさらに強化、 初期発達支援から貫く相談支援を学校内居場所に。二宮在住保育士のインセンティブにむけ聴取。国立小児病院跡地、東大果樹園跡地は未来の子どもたちを育成する広域の公民連携に繋げ。ワクチン副反応被害情報は公開。介護保険総合事業に移動支援D型導入を。福祉と防災の新庁舎建設とエリアプランを歓迎。 (一石)

討論

いたが、多目的施設建設が4年度予算審議において削除されたことは結果を物語っている。策定費800万円の効果は認めない。国民健康保険および後期高齢者医療は異例の年だったと確認、介護保険は生活支援への新たな事業を評価、下水道事業は計画や企業会計への移行はともに順調であると判断。 (野地)

「公共施設再編計画」は慎重さが求められて

現町政のスピード感は、ブレーキのないトロッコが時速10km程度でダラダラと下る町行政のイメージ。無駄に時間を逸する様でとても残念。時と地を知り尽くした行政ながら計画が悪く議会、町民への説明不足による反対で遅延が発生。事業進行スピードは徐行レベルであり適切ではない。 (大沼)

反対

令和4年(2022) 10月25日発行·

「駅・ラディアン周辺まちづくり計画」は合 :: 意形成する推進力に欠けた。体育館と運動場の :: 管理委託については当初予算時点で、向う3年 :: 間の委託長期契約を見通していた。つまり方針 :: を決めていた。しかし直後にひっくり返した変 :: わり身の早さは未だ不可解な行動として否め :: ず、町への信頼が揺らぐ案件だった。 (根岸) ::

断らない窓口の設置、地域集会施設の改修設計、救急車に心電図電送システム装備など、くらし・福祉面での前進を評価。一方で防災拠点としての新庁舎整備遅れ、課題を残したままの施設分離型小中一貫教育校の準備、里山管理など環境問題に人も費用もかけていない、マイナンバーカードの普及推進の4点は大問題。

(渡辺)

令和3年度 決算

4名の議員が



共産党 渡辺 訓任 議員

生活支える諸施策で前進も 4つの大きな問題が

Q 学校統廃合ありきの小中一貫教育校設置を、小中5校の施設そのままで、来年4月から進めるにあたり、大切な課題が解決されていない。拙速に進めることは、見直していただきたい。

A 保護者や地域の合意形成と並行し進める。

Q 防災の観点から新庁舎整備の遅れは問題。整備につき、町長選で信を問うのか。基本設計や詳細設計などで、町民要望を反映すること。

| A (町長選の後も) スタンスは変えずに、町民・議会に説明を続けていく。町民が利用したい形をより具体的にしていく。

図 環境保全と災害対策で抜本的な前進が見られない。地球温暖化対策も含め、部署を超えた大きな取り組みを求める。

▲ 里山再生でも、各団体に拠るところが大きい。これからも、各団体とともに町の環境を見ていく。大きな取り組みについては、国補助金の活用も含めて研究する。

Q コロナ対策に加え、8050問題を含めた「断らない窓口」の設置、教育施設の修繕や地域集会施設の改修計画推進など、生活を支える諸施策で一定の前進があった。一方、くらし・環境を守る町独自の施策が弱かった。教育・子育て支援、高齢者支援、自然環境保全について、小出しにせず、国施策を待つことなく、大きな柱を打ち出して進めることを求める。

A 庁舎整備などに計16億円程の基金を準備できた。 くらしを支える施策は継続が重要で、財源の確保が 必要。様々な要望について、順番に進めていく。特に、 教育については、教育の中身に合わせ、施設を考え る必要がある。



山林の管理は土砂災害防止に重要 (復旧作業中の道路=昨年7月)



無所属 松﨑 健 議員

令和3年度決算、中身は どこまであるか。

| A 広報などに紹介していく。

② ①分離型小中一貫教育校には中身がない。一色 小卒業生が二校に分かれて進学する点

②小中学校間の教員交換授業実施が示されない点

③小中間の交流に替わるオンライン授業が授業の妨 げとなるとの声にどう応えるのか。

| **A** ①保護者と話し合いながら決めていく。②予算措置を検討する。③無理のない範囲でやっていく。

Q 一色小単級化の解決に繋がらない。町の計画に 位置付けられる学校数縮減は止めるのか。

|A| 課題として受け止めるが小規模校の良さもある。 縮減は、小中一貫教育を進めながら考える。児童生 徒等に負担はかけない。

Q 町長の指導を反故にする職員による質問妨害や 不適切な答弁が散見される。町長は本当に適切な指 導をしているのか。

|A| 事実が伝わるよう指示をしている。「回答を差し控える」という答弁を巡っては、二次被害等への配慮。 追って説明はしていく。

A 今回の事案と対話は基本的に相いれない。裁判になっるおり、被害者もいることから事の重大さに鑑み、安易に対話により解決する問題ではない。



質問妨害や不適切答弁は本来議会が 取組む問題。機能してますか?

記事は質問者から提出された 原稿を基に作成しています。

総括質疑



神奈川ネットワーク運動 一石 洋子 議員

新義務教育創造の公民連携 プラットフォームを!

Q 若年層の重層的相談支援が喫緊の課題。ラディアンで開催された町主催の2回の教育講演会とも地域で共創する公教育の革命の機と明言。

全国で20万人と言われる不登校児童生徒の数倍の現 実は二宮も同様。子育て包括ケアシステムと連動、 中学校卒業までが肝要。

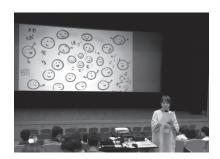
学校で子どもたちが幸せにいられる福祉的な個別最 適な育成と相談支援のために居場所作りや学校内外 を繋ぐ幅広い器が求められる。

▲ 子育て世代包括支援センターの一本に支える専門職も入る支援体制がある。教職員と地域の方が別教室で支える実践や地域の力を借りた放課後子ども教室や東大果樹園跡地みらいはらっぱでも住民団体が取り組まれており、プレイパーク含め子どもたちの第3の居場所に育てたい。今まで通りでは済まない状況を理解し、学びながら共に創っていく。施設一体型小中一貫教育二宮型ソフトに繋げる。

Q エコフェスタにのみやで推進した20回の風土再生の野外教育はコロナで圧迫された子どもたちの生き生きとした、あるべき生活の損失を取り戻す動きで重要。子どもたちが参画する気候非常事態宣言発出は出色。子どもは関係の要であり未来である。住民参画の減災型山林整備や谷戸棚田・農地再生等は、水、食、エネルギー自給の必要な社会状況に資する。自然から学び、自然の力をつける公民連携のダイナミックな文化創出に繋げるべき。

▲ 次期環境基本計画は「あらゆる世代による環境づくりの輪」をテーマに町内の協働を推進。職員研修も注力した。山林適正管理推進等、町民、団体の

多様な叡智を集めて二宮の自然 を活かした未来 に繋げる。



映画「夢見る小学校」上映会保護者 有志の会主催。2日で約千人参加!



無所属 坂本 孝也 議員

新たな魅力は子どもの教育 個性の光る育成環境を

Q 小中一貫校の導入についてと定住人口の確保についてはどうか。

|A| 来年度から、分離型小中一貫教育を進めていくが、結論が出るまで時間がかかると感じている。

Q 移住定住相談はどうか。

A 取組みの成果は徐々に上がっており、今後も継続していく。

🔾 東大果樹園跡地の活用についてはどうか。

▲ 活用協議会と連携して多様な活用が図られるように進めていく。

Q 産業の振興についてはどうか。

|A|| 各分野に向けて継続して取り組んでいる。

Q 新庁舎についてはどうか。

A ラディアン周辺の潜在的な魅力を引き出し、より良い町づくりに繋がると確信する。

◎ 葛川溢水対策はどうか。

| **A** 県に対し、引き続き要望していく。

| **A** | 富士見が丘二丁目をはじめ、1地区1施設を原則にして進めていく。

ℚ 職員との一体感についてはどうか。

| A | 意思疎通を図りながら、効率的かつ効果的な運営を推進している。

【要望】今の小学校の教育環境をどう思っているのか。 広いグランドに少人数の児童、狭いグランドには多 数、バランスが悪いままでいいのか。自然環境を売 りにしての定住促進は限界ではないか。新たな魅力

を考さはの子教の育育の考を住い子教の育育の考慮を考えばのたるととう力では推進す軽しる減ぎを見る。家等にはなばの重教教計を



東大の歴史をつなぎ、新たな教育をここから始めていこう(東大跡地)

第3号 第4号 第5号

一般会計補正予算

物価高騰支援、地域集会施設整備、新型ワクチン接種等に 約4億8千万円を追加

○7月25日臨時会(補正予算第3号) 1億152万円を追加

<歳入>

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (1億152万円)

<主な支出>

- ・住民税非課税世帯等生活支援事業 (3,348万円) 物価高騰に対する支援として、1世帯1万円の ジョイギフト券を支給。
- ・低所得の子育て世帯生活支援特別給付金

(1.175万円)

物価高騰に対する支援として、子ども1人につき 3万円の現金を支給。

・商工業振興対策経費 (3,730万円) 住民および商工業事業所支援のため、プレミア ム付商品券を発行。

・学校給食食材費高騰対応補助金 (928万円) 食材費の高騰に対し、質と量を維持

・議会運営経費 (10万円) 議員対象ハラスメント研修の講師料

<**賛成討論>**地方創生臨時交付金を、物価高騰対策 に活用するものと理解。 (渡辺)

<反対討論>将来を見据えた予算を望む。プレミアム付商品券は今回を最後に。 (松崎)

(議案第33号) 賛成11: 反対1で可決

〇補正予算 第5号 1億3,440万円を追加

- ・新型コロナワクチン接種事業 (全額国費)
- ① 2回以上接種した12歳以上を対象に、新たなオミクロン株対応型ワクチンを接種。
- ② 2回以上接種した5歳~11歳に対し、従来型ワクチンの3回目を接種。

<賛成討論>

・副反応被害情報公開とセットを条件。 (一石)

・ワクチンの安全性は町で検証せよ。 (松崎)

(議案第49号) 全会一致で可決

【契約】7月25日臨時会

○橋りょう長寿命化修繕工事 8,789万円

・中里第二・峯山・奥松根架 道橋の3か所

(議案第32号) 全会一致で可決



○補正予算 第4号2億4,116万円を追加

<主な歳入>

・地方交付税 (△3,315万円)
・臨時財政対策債 (△2,720万円)
・繰越金 (2億7,745万円)

<主な支出>

・施設再編推進事業 百合が丘老人憩の家旧館解体工事

・公園等整備事業 吾妻山公園の園路復旧工事 (1,600万円)

・農業および水産振興事業 (94万円) 肥料および燃料価格高騰に対する補助

<繰越明許費>

支出が翌年度繰越と見込まれた事業

・(仮称) 富士見が丘公会堂敷地整備事業

(4.000万円)

・吾妻山公園復旧作業 (1,600万円)

<債務負担行為>

単年度で終了しない事業の予算額を、次年度以降も あらかじめ決めておくこと

*金額は4~5年度の合計額。

・百合が丘老人憩の家(新館)改築事業 (7,000万円)・入川匂老人憩いの家耐震改修事業 (2,000万円)・町道舗装補修事業 (2,000万円)

< 賛成討論抜粋>

地域集会施設は住民自治、災害時の拠点であり富士 見が丘公会堂、百合が丘老人憩家は早期整備を目指 す措置として理解。吾妻山公園復旧工事も重要。こ の時期に必要な予算として認める。 (野地、小笠原)

<反対討論抜粋>

富士見が丘公会堂は翌年度へ繰り越しありき、百合が丘老人憩の家改築にいきなりの債務負担行為7千万円など、効率的な財政計画とは言えない。補正予算の7割を基金に積み立てるなど現場の声をくみ上げたか疑問。 (大沼、羽根、渡辺)

(議案第39号) 賛成9:反対3で可決

【4特別会計補正予算】

主に令和3年度の清算。

(議案第40~43号) 全会一致で可決

条 例

●下水道事業の公営企業会計化に係る条例制定

下水道事業に地方公営企業法の一部を適用し、 発生主義や複式簿記に基づく会計方式を採用。

<賛成討論>

運営状況の正確な把握、弾力的な経営等を実現でき、町民に対し正確な状況を示せる。 (野地)

<反対討論>

住民に負担を押しつけることにもなりかねない民営化に道を開く恐れがあり設置に反対。 (渡辺) (議案第37号) 賛成11:反対1で可決

●職員の育児休業等の取得要件緩和等の改正

地方公務員の育児等と仕事の両立支援に向け、 育児休業の取得要件の緩和をするもの。

(議案第38号) 全会一致で可決



デザインマンホールふた役場1階に展示されている

陳情

【陳情第8号】

田代公園内の富士見が丘公会堂建設に関する陳情田代公園を守る会

富士見が丘1丁目近隣住民を無視する進め方、 切土、盛土、擁壁のリスク、地域の公園の様相が 失われる立地への疑問から計画の再検討を求め る。

<賛成討論>

行政の合意形成の不手際からの陳情を理解。

(松﨑、根岸、渡辺、羽根、坂本)

<反対討論>

陳情の意を汲む合意形成の可能性が見えた。協議をつくし早期整備を求める。 (野地、一石)

賛成5:反対7で不採択



公会堂建設予定の 田代公園

人事

●教育委員会委員の任命 任期は3年 山西在住 杉本かお里氏 新任

- ●**人権擁護委員の任命** 任期は3年
 - 二宮在住 原 幸男氏 新任
 - 二宮在住 橋本ゆき子 氏 新任

(議案第35号、36号) 全会一致で同意

(議案第34号) 全会一致で同意

【陳情第9号】

二宮の魅力づくりの核となる東京大学果樹園跡 地の将来の方向性とそのための近代建築の活用 を求める陳情

まちづくり工房「しおかぜ」二宮遊学の衆

「水と緑のエコミュージアム構想」を掲げ東大 果樹園跡地の将来の方向性を住民参画で早急に明 らかにし、跡地内の建築物の活用を求めるもの。

<替成討論>

エコミュージアム構想は、新たな観光施策に発 展の可能性あり。 (渡辺、羽根、一石)

<反対討論>

当構想がまだ理解出来ていないなか、将来の方 向性への足かせを危惧する。 (野地、根岸)

賛成6:反対7で不採択

【陳情第10号】

小中一貫教育校設置計画の見直しを求める陳情 二宮の学校統廃合を考える会

施設一体型小中一貫教育校設置は、地域とともにある学校を推進することと逆行し、教育的理由が不明瞭、教職員の多忙化が進む。少人数学級に注力する方が子どもたちのためになるとして計画の廃止を求めるもの。

< 賛成討論>

地域に学校を残し、5校の個性を損なわないことが大切。 (渡辺)

<反対討論>

既に30人以下のクラスも多く、当面5校で子どもたちのための二宮型小中一貫教育の方向性と相反するものではない。 (一石、根岸)

賛成1:反対11で不採択

各議員の議案・陳情審査に対する 賛成・反対 は?

		二宮せつこ	羽根かほる	松﨑健	野地 洋正	杉崎 俊雄	坂本 孝也	小笠原陶子	渡辺 訓任	大沼 英樹	前田憲一郎	根岸ゆき子		善波 宣雄	結果
陳に情に名(左は議案番号)															
8	田代公園内の富士見が丘公会堂建設に関する陳情	•	0	0			0	•	0	•		0			不採択
9	二宮町の魅力づくりの核となる東京大学果樹園跡地の将来の方向性とその ための近代建築物の活用を求める陳情 <u>※</u>	•	0	0	•	•	0	•	0	•	0	•	0	•	不採択
10	小中一貫教育校設置計画の見直しを求める陳情								0						不採択
町長提出議案名(左は議案番号)															
32	令和4年度橋りょう長寿命化修繕工事請負契約について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		可決
33	令和4年度二宮町一般会計補正予算(第3号)	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		可決
34	教育委員会委員の任命について	0	0	0	0	早	0	0	0	\circ	0	0	0		同意
35	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	0	0	0	0	早	0	0	0	0	0	0	0		同意
36	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	0	0	0	0	早	0	0	0	0	0	0	0		同意
37	二宮町下水道事業の設置等に関する条例の制定について	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0		可決
38	二宮町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		可決
39	令和4年度二宮町一般会計補正予算(第4号)	0		0	0	0	0	0			0	0	0		可決
40	令和4年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		可決
41	令和4年度二宮町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		可決
42	令和4年度二宮町介護保険特別会計補正予算(第1号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		可決
43	令和4年度二宮町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		可決
44	令和3年度二宮町一般会計歳入歳出決算の認定について ※	0	0			0		0			0		0	0	認定
45	令和3年度二宮町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		認定
46	令和3年度二宮町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0		認定
47	令和3年度二宮町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0		認定
48	令和3年度二宮町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	0	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0		認定
49	令和4年度二宮町一般会計補正予算(第5号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		可決

[※]議案について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています(早は早退)。

町議会でハラスメント研修を開催 ― 倫理規定要綱にハラスメントを明記 -

議会で発生したハラスメント事案について、5月25日の議会全員協議会(全協)で「倫理規定の見直し、研修の実施、相談窓口の設置、再発防止体制」について取り組む確認を、全会一致で行なっている(議会だより184号で既報)。この一貫で、ハラスメント研修を開催し、全協で「倫理規定要綱」の改定を行なった。

- 1.8月の議会全員協議会で、現行の政治倫理規定要綱に、①ハラスメント規定、②反社会的勢力との関係を持たないの2つを追加。
- 2.8月24日、ハラスメント研修を実施。講師は元全国都道府県議長会事務局次長内田一夫氏。ハラスメントに対する認識を共通にすることが目的の1つであったが、1名の議員が欠席。

防止体制づくりについて、内田氏は、議員としてのコンプライアンス(法やきまりの順守)に触れたうえで、ハラスメント関連の条例で3つの例(①議長にハラスメントの判断・公表の権限を持たせる②ハラスメントの調査・対応に議会が委員会を設置③県議会に専門家グループを設置し、市町村の事案調査を支援)を示した。

議会は、防止策の策定と実行が求められる。参加者は、条例を作るのか、議員・職員の両方を 対象とするのか、認定・公表のステップなどの課題を改めて認識することができた。9月定例会後、 今回の研修の内容も受けて、ハラスメント防止体制の方向性を、検討していく。

[※]可否同数のため、地方自治法第116条の規定により、陳情番号第9号、議案番号第44号は、議長採決により決しました。

一般質問



^{無所属} 前田憲一郎(

問 二宮町のこれからの学校教育に ついて問う

今 小中一貫教育目標をすべての学校で統一 コミュニティ・スクールは今後の課題

図 開校が令和5年4月とされている施設分離型小中一貫教育校に対する準備の進捗状況、今後のコミュニティ・スクールの在り方についての方針は

■ 分離型小中一貫教育に関する方向性は、小中学校5校はそのままで、全体を一つの学園として捉え、名称を「にのみや学園」とする。教育目標をすべての学校で統一したうえで、学園内の交流促進を目的として、二宮中グループと二宮西中グループを置く。学習面では、義務教育9年間の系統性のある指導を行っていく。令和5年度からの小中一貫教育は、児童生徒や保護者、教職員などに過度な負担をかけず、小中一貫の意識を高めていくことを目標に進める。一方で、小中一貫教育の推進に伴うコミュニティ・スクールの在り方は、今後の大きな検討課題になる。

地域の皆さまと話し合い、一緒に考えていく。

② 中学校部活動の地域移行に関する進め方や方向 性は

A 大きな課題である指導料などの費用については、 誰が負担するのか国は未だに詳細を示していない。 人材面の確保の面では、二宮町スポーツ協会との話 し合いを始めている。顧問である教員の意見も聞き

ながら、地域移行に向けた 条件整理を進めていく。 段階的地域移行の初年度の 令和5年度は、いくつかの 部活動をモデルケースとし て、課題を検証する年度と なることを想定している。



部活動の地域移行検証 写真は二宮中学校野球部



公明党二宮せつこ

問

給食費を私会計から公会計に 弱視検査に機器導入は

答

公会計に移行準備はしている 屈折検査機器の導入を考える

図 現在、給食費は、校長の口座に入る私会計処理で、年間9千万円の取り扱いである。2019年に文部科学省は公会計に移行するガイドラインを出し、徴収・管理業務を地方自治体自らの業務として行う対応を進め、近隣でも多くの市町が導入しているがどうか。

■ 公会計化した場合は、町の会計に組み込まれ、 監査や執行管理の面で、より一層の透明性が増し、 歳出予算を執行管理することで食材費の高騰などに 素早く対応でき、より安定的な給食の提供が可能に なる。

Q 移行に対する課題は整理されているのか。

A 近隣の進捗状況を調べ、体制の整備、会計システムの導入、係る財源確保、食材の調達方法、条例の整備など、基礎資料を集めている。

図 既に移行している市町もあるが、町長はどのように受け止めているのか。

■ 公会計に移行準備を教育長に指示し、今進んでいる状況である。予算措置や保護者の方への説明もあり、時間を少し頂きたい。

② 次に、弱視の子どもが50人に1人いるとされている。3歳児健診の際に専用器具を用いて早期発見が有効とされているが導入はいかがか。

■ 取り扱いが簡単な検 査機器も出てきたので、 弱視を見逃さないため に、国庫補助があるうち になるべく早く導入の 方向を考える。



120万円程の検査器具で検 査は数秒 国庫補助は50%

般質問



無所属 羽根かほる



①子ども・子育て支援事業計画の進捗は ②ハラスメントに関する制度や考えは



①必要な制度はスピーディーに対応 ②姿勢を示し、条例制定の研究を進める

①子ども・子育て支援事業計画の進捗は。

図 今後の計画で必要と考えている点は。

A ホームページにヤングケアラーの対象や、実際 のケアラーのイラスト、県の相談先や町の相談先に ついて掲載した。今年度より、要保護児童対策地域 協議会で、関係機関の情報交換や支援の推進につい て要綱が追加となった。今後は、産後のケアが必要。 産後のショートステイやヘルパーを考えている。

Q 次の支援に向け、町独自の子育て支援策が必要と 考える。町長の考えは。

A 子どもが育っていく中で、足りない部分がある 家庭が出てきている。窓口での対応や出向いていく などキャッチをし、支援の制度化には、柔軟に、スピー ディーに対応をする。

②ハラスメントに関する制度や考えは。

図 ハラスメントに関する要綱等の制定状況は。

A 消防本部職員は平成30年2月、その他の職員は 令和2年7月を対象として、二宮町ハラスメント等 通報窓口設置要綱と二宮町ハラスメント等調査委員 会設置要綱を制定している。

図 二宮町のハラスメントに対する町長の考えは。

■ 町の姿勢を示していくため、条例化の研究も必

要。部局だけでは なく、議員とも意 見交換し、研究、 条例化に向け、進 めたい。



顔の見える支援を行う保健セン



無所属 大沼 英樹



町長8年間の計画や難題に進展はあったか、 在任中に出来た事柄は何か



プールの21回質問も議会の役割であり 行政の務めであり決して無駄ではない

図 袖が浦プール廃止に議会は存続を求め質問は21 回あった。議会と積極的な議論はしないのか。

A 議員構成で変化した。議会が民主主義の姿。ぐ ずぐずなどしていない。言葉としておかしい。

Q 私の質問から地域集会施設不備が発覚し更新。町 政・議会が一致した事業に反対陳情は残念、いかがか。

■ 議員の提案だったと改めて感じた。2丁目の要 望で進めてきた。つまずきとの表現は不適切。

Q 陳情が否決されても話し合いは保証されるか。

A 賛否にかかわらず、しっかり話し合いを進める。

図 町の中心は通勤、買い物など生活の場と考える。 駅周辺は民間投資に任せ、交通難解消の必要は。

A 行政集約のラディアン周辺が中心。庁舎は投資 ではない。バス便が少なくなるのはやむを得ない。

図 他市町の新庁舎建設では地盤の危険性を考え浸 水エリアに近づく庁舎はない。次選挙で新庁舎建設を 町民に問うか。

A 新庁舎はラディアン周辺に建設する。

Q 庁舎を自宅と仮定して小さな駅前、広い高台、平 地の浸水エリア、大金を投じ家を建て、末代が被災し て命を落としても決定に胸を張れるか。

■ 少し地盤の高い果樹公園で自信を持って備える。

【要望】町民、議会への 多大な迷惑は要職を担う 資格を疑う。公約実績は なく、誤入力、コロナ感 染多発で指導力も低い。 次世代に続くまちづくり を求む。



地球温暖化で想定外の災害 は急増、多発している



無所属 野地 洋正



結論を1年先延ばししたプール、小児病 院跡地と、社協事務所の移転はいかに



公共施設再編計画見直しの中で示す、 社協事務所は6年度末まで現状確保

図 再開を求める決議が出されている袖が浦プールを含め、3つのプールのあり方は。

■ 3つのプールを維持し続けるのは困難であり、まずは支出、赤字が大きく、今後も大規模修繕が見込まれる温水プールの方向性を定め、他のプールについても公共施設再配置計画見直しの中で整理し、今年度中には示す。

Q 国立小児病院跡地の活用方法は。

A 土地売却による違約金は発生しないが、国からは「一部でも子ども向けの視点を持った活用を」と言われている。改めて考えを整理し、土地貸付も含めて民間からの事業提案を求めていく。

図 移転が迫られている社協事務所と、議会承認が得られなかった(仮称)多目的施設の課題解決は。

■ 県から4年度末までの退去を求められる中、移転先としてホテル跡地に多目的施設を提案したが、説明不足もあり議会承認を得られなかった。現在は、行政機能をラディアン周辺に集約とする公共施設再編計画に理解をいただき、令和6年度末までの継続使用が認められている。令和5年度、新庁舎、ラディアン、多目的施設の一体的な基本設計の中で、社協

事務所も含め最適な機能配置を具体的に考える。

【要望】町長は、直近の課題に真摯に向き合い、具体的考えをしっかり示したうえで、町民の判断を受けるべきである。



7年間放置されたままの袖 が浦プール。再開決議は?



^{無所属} 小笠原陶子



①坂の多い所で通いの場に通う対処は ②学童保育の減免制度の見直しを求む



- ①送迎ボランティアの立ち上げ支援と周知
- ②近隣市町村の状況を調査し検討する

図 高齢者保健福祉計画の具体的な取り組みに通いの場が位置付けられ、令和5年度は高齢者の1割参加目標とある。坂の多い地区では足腰が悪く会場に行かれない方がいる。そこで最近町内ではボランティアが送迎する仕組みを作っている地域やグループがある。町も側面的に支援しているが、大きな輪にしていくため情報の共有化周知が重要だが。

▲ 通いの場の参加者はコロナウイルス感染防止措置などで減少。令和3年度は参加率5.7%、国も目標を8%に見直した。送迎グループの立ち上げに際して町は2層協議体を対象に講習会を開催した。この講習を受けた他地域の方も活動したいという声を聞く。コロナ終息後、町がつなげていく。送迎グループの周知は会と相談してから宣伝していく。

② ひとり親家庭の子どもが、夏休み中自宅でTVかゲームという様子を知り、学童保育に入れたらと聞いたが月謝が高くて無理とのこと。町の小学1年生は月1万1千円。ひとり親減免は1千円だけ。大磯町や中井町は3千円を減免。小田原市は就学援助と生活保護家庭は無料になり利用者の20%が無料。

■ 保育料減免を拡充するには、委託先の寿考会との調整や運営費が不足する場合には町からの補填も

必要になるため、近隣市町村の状況などもよく調査し、しっかり検討する。●他に中学生のブリティッシュヒルズ海外体験研修の実施について質問。



夏休みの居場所づくりの 一つが放課後子ども教室

教育福祉常任委員会

「二宮町の資源を生かした子どもの育成環境について不登校あるいは 不登校の前段階における子どもたちの居場所作り」の提言

「課題提起」と「調査研究の活動報告(令和3年4月~令和4年8月)」を付して9月議会で承認後、町長と教育長へ提言書を提出。以下提言事項。

- 1 支援教育補助員、SSW(スクールソーシャルワーカー)、SC(スクールカウンセラー)の配置状況を精査し、減員することなく効果的に増強し、SCについては、小学校にも常駐する日を設けること。
- 2 学校内のフリースペース*①の設置に向け、教育委員会と学校で協議を進めること。
- 3 教育支援室(やまびこ)は、保護者に更なる周知を図り通学しやすい環境づくりを目指すこと。
- 4 学校、やまびこ教室、民間フリースクールの3者連携を強化し、子どもたちが 教育を受ける権利を守ること。
- 5 校内フリースクール*②の設置を検討すること。





- ※①フリースペースとは教室以外の 校内の場所で、児童生徒が一時 的に休憩できる場所
- ※②校内フリースクールとは教室以外の校内の場所で、教員による個別最適な支援や授業を受けることができる児童生徒の居場所



総務建設経済常任委員会



農業政策の目標を定めよ

地産品に付加価値を付け 経済につなげ改善 居住環境を豊かな自然で 理想につなげ発展

- ① 荒廃地解消には農道以外の付帯設備を充実させ、県の補助施策を強く求めよ。
- ② 里山保全団体は援助が必要であり、資源を有効活用し荒廃地解消を目指せ。
- ③ウッドチップセンターの地域資源を効率的に再利用し契約更改に備えよ。

~調査研究の中で今後の課題と思われる事柄を抽出~





後

記

任期最後の9月議会。地域集会施設に係る陳情に傍聴席はいっぱいに。町民の方々と創る議会なのだとひしひしと感じる。民主主義の学校・地方自治の舞台である議会は激変する社会状況を見据え、町規模は弱小だが貴重な自治体をパワーアップする存在でありたい。子どもたちの義務教育と大人たちの自治の学校の変革を町ぐるみで考えたい。 (一石)

◎議会だより編集委員 委員長 前田憲一郎 副委員長 小笠原陶子 委 員 野地 洋正 坂本 孝也 大沼 英樹 一石 洋子

発行/神奈川県二宮町議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/野崎印刷紙器株式会社 〒259-0196 中郡二宮町二宮961 TEL 0463-75-9267 FAX 0463-72-6691 メールアドレス gikai@town.ninomiya.kanagawa.ip

